

アイヌ語は、アイヌ民族によって話される言語です。母語話者の数は非常に少なくなっていますが、一般向けの入門書が発行されていたり、ラジオ講座が放送されていたりします。しばしば北海道や北東北の地名の由来になっているほか、「ラッコ」や「トナカイ」のように日本語に入っているアイヌ語もあります。

アイヌ語表記と片仮名

アイヌ語は固有の文字を持ちません。しばしば片仮名で表記されます。アイヌ語には閉音節のように日本語にない特徴を持つため、通常の片仮名に加えて、一部の片仮名を小さく書いたり、半濁点を付けるといった工夫をして書かれます。

アイヌ語表記のために追加される片仮名は下記の通りです。

- ・ 小書き：ク、シ、ス、ト、ヌ、ハ、ヒ、フ、ヘ、ホ、ム、ラ、リ、ル、レ、ロ
- ・ 半濁点：セ、ツ、ト、小書きのフ

アイヌ語の表記法にも流儀による違いがあるので、全ての場合において上記の文字が全て使われるわけではありません。

また、アイヌ語のテキストには記号としてハイフンを上下に2つ並べた格好のダブルハイフンが用いられることがあります。アイヌ語専用ではなく汎用的に用いられる記号です。アイヌ語の片仮名でなくラテン文字表記のテキストにもこの記号は用いられることがあります。

片仮名を小書きにして閉音節を示す方法は、アイヌ語だけでなく、朝鮮語(韓国語)などの他の言語の発音を示すのにも用いられることがあり、アイヌ語特有というわけではありません。

JIS X 0213 との関係

上記のようなアイヌ語表記に用いられる片仮名は JIS X 0208 には含まれていませんでした。日本国内の言語であるアイヌ語の表記法として印刷物において長年にわたり確立した使用のされているものであることから、JIS X 0208 の拡張規格として JIS X 0213 が作られた際、これらの文字が収録されました。アイヌ語に対応することは規格開発の初期段階から明言されていました。

符号位置としては、漢字集合1面の、5区92点から94点、および、6区78点から94点に、上記の文字が入っています。

ダブルハイフンは、1-3-91 に追加されました。

JIS X 0213 によって初めてアイヌ語はコンピュータで扱えるようになりました。2000年に JIS X 0213 が規格化されると、Shift JISX0213 によるアイヌ語テキストの符号化が行われるようになりました。

Unicode への取り入れ

JIS X 0213 が成立した当時は Unicode にこれらの文字はありませんでしたが、のちに JIS X 0213 を根拠として Unicode にも取り入れられました。

ただし、半濁点付きの文字は、合成用半濁点 (U+309A) を用いることで表現可能だとして、独立した符号位置を与られていません。特に、アイヌ語表記に頻出する小書きのプ(面区点 1-06-88)がこれに該当し、Unicode では「小書きのフ + 合成用半濁点」という 2 つの符号位置の列で表すことになりました。テキストデータを処理するプログラムがこうした結合文字を適切に扱えることが必要です。

Mac でのアイヌ語入力

Mac ではアイヌ語入力方式が用意されています。これを用いると、一般的なアイヌ語のローマ字綴りの打鍵によって片仮名に変換できます。上記の小書きの片仮名も適宜入力されます。

例えば、irankarapte と打鍵すると、「イランカラプテ」の「プ」が小書きになった状態で入力されます。

また、閉音節の単語の場合、スペースを入力したりあるいはリターンを打鍵すると小書きの片仮名が語末に入ります。例えば、cep と打った後にリターンを押すと、「チェプ」の「プ」が小書きの形で入力されます。

OS に付属のテキストエディットで入力すると、テキストをそのまま Shift JIS-2004 (Shift JIS X0213) や UTF-8 で保存できます。

アイヌ語テキストの保存、コード変換

上記のアイヌ語表記用片仮名を使ったテキストを保存するとき、JIS X 0208 ベースの Shift JIS では一部の文字が対応しないため保存できません。JIS X 0213 ベースの Shift JIS-2004 なら問題なく保存できます。

コード変換でも、Shift JIS-2004 あるいは EUC-JIS-2004 を用いることが必要です。例えば、UTF-8 のファイルを iconv コマンドで SJIS に変換するときは下記のようにするとアイヌ語も大丈夫です。

```
iconv -f UTF-8 -t SHIFT_JISX0213 < utf8.txt > sjis.txt
```

こうしてできた sjis.txt を再び UTF-8 に変換するときは、上記の -f と -t を逆にします。

```
iconv -f SHIFT_JISX0213 -t UTF-8 < sjis.txt > utf8.txt
```

関連項目

- ・ 片仮名
- ・ JIS X 0213